

宝物はすぐそばに

校内研通信

第36号

R7.12.8

発行者:校内研担当 仲村智

『The youngset is Miyuki』・・・ソーシャルスキルを得る(*^o^*)

12月8日(月)1校時、2年5組にて大城みゆき先生が英語の授業を公開しました。本時のねらいは、「最も〜だ」と伝えることができることです。みゆき先生は、導入～展開～まとめと授業を通して生徒とのコミュニケーションを大切にしながら、常に楽しい会話を中心としたこれぞ言語教科というようなテンポのいい授業を展開していきます。スクリーンを使った映像資料の教材準備も生徒の興味を引くような題材を考えたり、また参観した先生方も参加して最上級を使った質問を臨機応変に提示したりと、教師自身も楽しんで授業を進めて行く余裕すら感じさせます。前時に学習した比較級から本時の内容である最上級への流れもしっかりポイントをおさえてスムーズにつなげることで、生徒は既習の内容をおさえながら今日の学習内容の理解に繋がったことでしょう。さすが学年主任みゆき先生、生徒への愛情が伝わる素敵な授業をありがとうございました😊



RS
みつけた!

英語の比較級や最上級の理解は、リーディングスキル(RS)と密接に関係しており、文章の詳細な意味やニュアンスを正確に把握するために不可欠です。

文章内の「比較・対照」の理解深化: 比較級や最上級の表現は、2つ以上の物事の違いや優劣、あるいはグループ内での際立った特徴を示す役割を果たします。これらの文法形式を理解することで、文章が伝えたい「何がどのように違うのか」「何が最も優れているのか」といった意図を正確に読み取ることができます。

文脈からの意味推測能力のサポート: 文法知識は、文の構造を決定し、単語の意味理解を助けるため、RSに影響を与えます。比較級や最上級の形式(例: -er/more, -est/most, good-better-bestのような不規則変化など)を知っていると、たとえ知らない形容詞や副詞であっても、その単語が比較の意味で使われていることを文脈から推測することができます。

比較級で
『推論』を鍛える
問題例

推論(文章の意味を既存の知識を使って推測)
山田君はこの学校の誰よりも背が高いです。では「佐藤さんは山田君より背が低い」と言えますか。
言えます。(1文目の内容から、2文目の内容は正しいと推測できる。)